

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	[ツリーハウス企画カフェ] による子どもの居場所活動と地域づくり
事業主体 (連絡先)	風土考房トナカイ 中村 健 (090-3440-3990)
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	610,794 円 (うち支援金 : 478,000 円)

### 事業内容

当事業は、「子どもの権利」の保証としての、①「子どもの居場所づくり」と②子どもの権利がより分かりやすく学べるゲームづくり、さらに③子どもが被害者となる場(家庭・学校・地域)での課題解決に取り組む「修復的対話」アプローチのできるファシリテーターの養成という3つの講座を行ないました。それに加えて、子どもの物理的居場所として、さらに「子どもの居場所の拠点」として従来あつたツリーハウスを、より安全且つ快適に理容できるように、ツリーハウスの修復を行いました。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があつたか、項目毎に記載すること。

3つの講座を企画し実施するにあたって、地元の行政・社会福祉協議会(山形村)との連携、さらにより広域の行政(松本市、塩尻市)との意見交換を通して、長野県が平成26年に制定した「長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例」また平成25年に制定された「子どもの権利に関する条例」がまだまだ周知されていない中で、子どもの条例がより分かり易い形で理解され、施行することの大切さを、講座の参加者を通して県下に広く伝わっていくことが期待されます。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子どもの権利の理解、子どもの居場所活動が定着していくように、行政・地域との連携をさらに地道に進めていこうと考えています。



【講座②、ツリーハウス修復の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①子どもの居場所づくりと活動範囲の拡大
- ②子どもの権利の理解の促進
- ③子どもの権利ファシリテーター養成の養成
- ④子どもの居場所の拠点づくり

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

事業(特に3つの講座)に関わってくれた人・行政の理解がとても深く進んだという印象があります。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあつたが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある